

山里の宝を活かしたふるさとづくり

～誰もが笑顔と元気で輝き合える千万町・木下～



木下ふるさとかわら版

全三回にわたるふるさとづくりワークショップが一月十八日に開催され、これからのふるさとづくりのテーマ(合言葉)が出来ました。「山里の宝を活かしたふるさとづくり」誰もが笑顔と元気で輝き合える千万町・木下」です。

「ないもの探し」ではなく、「あるもの持ち寄り」に考えをシフトし、すべての地域住民と都市住民が関わり合い、よりよいふるさとをつくりたいけるようにしたいとの想いを共有しました。(ソトモノのハピパンメ下は「あるもの」だらけです!)

そつしてたくさんの方々の意見やアイデア、想いや夢を持ち寄り、地域活性化計画がまとまってきました。



最後の発表の様子。熱い想いが伝わってきました。

【山里の宝を活かした農林業】米作り(ミネアサヒ)の継続と体験活動、特産物作りに挑戦する若者の支援や、木の駅からつながる森林資源の活用(※裏面特集参照)

【山里の自然・景観を活かす】乙川の清流を守り、魚と遊べるホタルの見える自然の川を残してゆくこと、棚田を維持し、景観を保全するための活動の推進

【山里の歴史・文化を活かす】千万町・木下のお祭り、千万町神楽の継承、これまでのフォトコンテスト作品の活用

【千万町楽校の活用】①地域コミュニケーションセンターとして・・・グラウンドゴルフ、運動会、ジャズ、盆踊り、音楽会、映画会など ②防災拠点として・・・シブエ BBQ&流しそらめん、餅つき大会、ひな人形展、畑での農林業体験や間伐体験・森林教育の機会など

【若者が住める環境づくり】様々な山積する問題、課題は暮らす人が増えることで解決するものが少なくないという意見が多く出る中、移住者を増やすための仕組みづくりと風土づくり、空き家の活用、仕事づくり、若者への応援などを進めていく、など。

まちなみすん こんにちは!

消防団に入って十年、千万町の加藤裕介です。今、額田消防団第七部は操法大会に向け、朝は五時から、そして日中は通常どおり仕事をし、再び夜八時から練習に励む日々です。



加藤 裕介さん

皆さんご存知かと思いませんが、僕の職場は名古屋市内です。高速を使って片道一時間半かけて通勤しています。普通ならば名古屋に住もうかと考えそうなところでしょうが、(注:インタビューを元に書かせて頂きました。)



参加された皆さまお疲れさまでした!

計画は実行してこそ地域は元気になっていくもの。既に動き始めたプロジェクトもあります。新しいことも、足下にあることも、出来ることからひとつずつ。千万町・木下に関わるすべてのひとがチカラを出し合って、十年二十年後のこの地域が今よりもますます元気で魅力的な場所になっていけるよう、楽しみながら進めていきたいですね。

(HAPPYPUNCH 三浦奈苗)

ふるさとづくりのつらみ

「じさんじよの会」

会長 荻野昌彦

この三月で茅葺屋敷の契約終了に伴う工事も終了しました。寂しくなりましたが改めて十年余りにわたる活動にご協力いただいた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

「会はこれからどうなるの?」と、今でも本当に多くの人がご心配をいただきます。私たちが出した結論は細々でも良いから続けて行こうということ。千万町楽校でフォトコン写真展・楽書展と共に開催されたお雛さま飾りのイベントでは週末の入場に限られたものの、寒さの一番厳しい時期にまずまずの賑わいとなりました。ひと月半という期間が長いと言っ意見もありましたが、終わってみれば「もう片付けちゃうの?」の声も聞かれ主催者としては来年に向けて大きな自信につながりました。元教室は年々増えてきたお雛様の飾り場所としてはもってこいの広さです。こたつとストーブの周りにイベントを聞きつけて集まってきた人たちの楽しそうな会話と笑い声を聞いているととても嬉しくなります。

このような地区の内からも外からも自然に人が集まっていたらいいイベントをなるべく無理をせずに年間を通して続けて行けるように考えていきたいと思えます。そして、いつか皆のエネルギーが溜まってきたら無理しても無茶苦茶派手なイベントを企画してみたいと思っています。

次の行事は
5/24(日)
いきいきサロン
ヨガ教室&
懐かしの映画上映会

特集

軽トラとチェンソーで森も地域も元気に—
 「額田木の駅プロジェクト」が始まります！

額田木の駅プロジェクト
 事務局長
 唐澤晋平さん

●木の駅って何？

木の駅は、簡単に言えば「道の駅」の林業版です。空いた時間に山で間伐して木材を出荷すれば誰でも気軽に副収入を得られる仕組みです。林業というとハードルが高く感じがちですが、木の駅では軽トラトラックでも出荷できるサイズの木材でも買い取りを行います。

●いくらで買い取ってもらえるの？

通常は細い材、短い材はチップ材として1トン3,000円程度にしかありませんが、木の駅では岡崎市などの協力により1トン6,000円で買い取りを行います。ただし、木の駅では木材の対価は現金ではなく地域通貨「森の健康券」で支払います。森の健康券は額田地域の登録店舗でのみ利用できる通貨で、地域経済の活性化にも貢献しようという試みです。

●木の駅に出荷するためには？

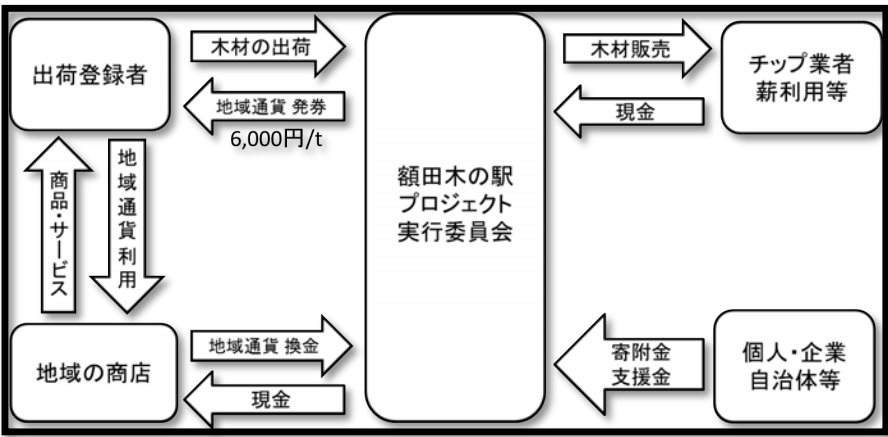
出荷者としての登録を行っていただき、実行委員会の定めた土場まで木材を出荷してもらう流れになります。詳細が決まり次第、千万町・木下地域でも説明会を行う予定です。五月以降に出荷受付を始める計画ですので、ぜひご参加ください。

●主催は？

額田木の駅プロジェクト実行委員会（委員長：鈴木啓允）が主催しています。実行委員会は木材の出荷者、商店、行政、地域団体などからなる運営組織です。

●木の駅についてのお問い合わせ

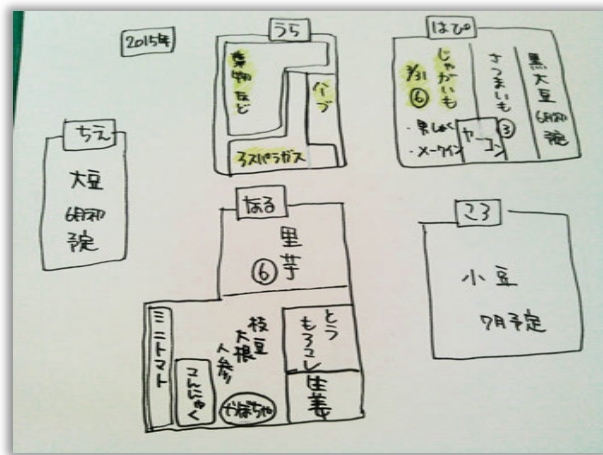
額田木の駅プロジェクト事務局長 唐澤晋平
 090-2982-8771



まじの行事予定

- 5月24日(日) いきいきサロンヨガ教室
 & 懐かしの映画上映会
 10:00~ 簡単ヨガ教室
 11:30~ ふれあい会食（五平餅1本無料）
 13:00~ 懐かしの映画上映会
- 6月6日(土) 資源回収&グラウンドゴルフ大会
 8:00~ 資源回収
 9:00~ グラウンドゴルフ大会（参加賞・景品等有り）
- 7月25日(土) 第2回千万町楽校ジャズライブ
 17:30開場 18:30開演
- 8月14日(金) 第7回夏祭り
 8:00~準備 11:00~バーベキュー(参加費1000円)
 18:00~夜店 19:00~盆踊り 21:00~くじ引き
- 8月23日(日) ジビエBBQ&流しそうめん
 ※詳細は別途回覧板等にてお知らせします

畑別・春〜夏の栽培計画。今年は大粒の畑を移動します。



最近のハピベジ畑報告です。三月末にハピ園に植えたじゃがいも(男爵・メークイン)は無事発芽。噂の裏向き植えも、今のところ



普通植えと変わらない様子です。うら園のアスパラガスが、よきよきと出てきています。無事冬越ししたハーブたち(オレガノ、レモンバーム、フェンネル、パクチー、山椒)は青々と育っています。残念ながらレモングラスは冬越冬失敗、やはり寒すぎたようです。春を迎え、夏野菜の種まきを開始しました。うら園に葉物をメインにまきました。うまく育ってくれますように。

そして、六月七日には大豆まきを予定しています。おかげさまで六年目突入となります！康夫師匠をはじめとする、千万町の

編集後記

お久しぶりのかわら版発行です。大変お待たせしました！って、待っていてくれる方がひとりでもいらっしゃるのいいのですが、季節は短い春を通り越すすっかり初夏の陽気です。先日、名古屋のギャラリーで開催された木下在住の国島征二さんの作品展にお邪魔してきました。うまく言葉に表せないのですが、とても印象的で頭と心につよく残る素敵な作品でした。様々な『ひと』と出逢えることも、千万町・木下の素晴らしい『まじ』ですね。
 (HAPPYPUNCH 三浦奈由)

★ハピベジスケジュール★

- 5/10 (日) 夏野菜植付け、草取り等
- 5/24 (日) 草取り等
- 6/7 (日) 祝★6回目の大豆蒔き！
- 6/21 (日) 大豆補植、草取り等
- 7月以降の予定は次回のかわら版でお知らせしていきます。
- ぜひぜひ畑仕事のご指南ください！

皆さんのご支援を頂きながら、長い期間続けることが出来ました。最近ではメンバーに続けて子どもが生まれ、約半年の産休(笑)を経て早々に子連れ復活する姿も見られるようになりました。ますますにぎやかな声が畑に響く一年になりそうです。

なかなか形をもってお返しすることが出来ていませんが、六年目のハピベジも、どうぞよろしくお願ひします。

(HAPPYPUNCH 猪瀬 貴世)

発行元：ふるさとまじり委員会
 編集：HAPPYPUNCH
 連絡先：happyponch.vege@gmail.com